

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年5月22日現在

機関番号：32606

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2009～2012

課題番号：21330182

 研究課題名（和文） 旧制中等諸学校の『校友会誌』にみる学校文化の諸相の研究と  
史料のデータベース化

 研究課題名（英文） Research of the various aspects of school culture and database  
creation of the "alumni association magazine" of old system middle schools

研究代表者

齊藤 利彦 ((SAITO TOSHIHIKO)

学習院大学・文学部・教授

研究者番号：20178495

研究成果の概要（和文）：旧制中学校および高等女学校を前身にもつ高等学校、それぞれ 700 校、1074 校に対し『校友会雑誌』の刊行と所蔵に関する全国アンケート調査をもとに、多面的な分析を加えた。また、各地の公共図書館における 2000 冊に及ぶ『校友会雑誌』の所蔵を確認した。さらには、300 種類、700 冊以上の『校友会雑誌』を収集し、史料目録等のデータ・ベース化を行った。また、研究報告書（第一集）『旧制中等諸学校の『校友会雑誌』にみる学校文化の諸相の研究と史料のデータ・ベース化』（全 367 頁）を刊行し、『校友会雑誌』の記事内容の分析に取り組んだ。

研究成果の概要（英文）：The national questionnaire about publication and possession of an "alumni association magazine" was performed to 700 old-system junior high school schools and 1074 girls' high schools. Moreover, in the public library of every place, possession of 2000 "alumni association magazines" was checked. Furthermore, 300 kinds and 700 "alumni association magazines" or more were collected. And the historical-records list etc. were put in a database. Moreover, the research report (all the 367 pages) was published.

交付決定額

（金額単位：円）

|        | 直接経費        | 間接経費       | 合計          |
|--------|-------------|------------|-------------|
| 2009年度 | 3,200,000円  | 960,000円   | 4,160,000円  |
| 2010年度 | 2,400,000円  | 720,000円   | 3,120,000円  |
| 2011年度 | 2,200,000円  | 660,000円   | 2,860,000円  |
| 2012年度 | 2,200,000円  | 660,000円   | 2,860,000円  |
| 年度     |             |            |             |
| 総計     | 10,000,000円 | 3,000,000円 | 13,000,000円 |

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：校友会誌、学校文化、旧制中学校、高等女学校

## 1. 研究開始当初の背景

旧制中等諸学校（中学校・高等女学校・実業学校）に関する歴史研究は、これまで様々な角度から取り組みが進められてきたが、制度史や政策史研究の進展に比べ、中等諸学校内部での具体的な生徒の文化活動や学校生活の実態を解明した研究は、量的にも質的に

もいまだ十分なものとはなっていない。こうした点で、『校友会誌』あるいは『学友会雑誌』等と呼ばれた校内機関誌は、きわめて重要な史料的価値をもつものである。

## 2. 研究の目的

本研究は、これら『校友会誌』を手がかり

として、中等諸学校における学校文化を以下の三つの具体的な角度から明らかにすることを旨とした。

- ①学校文化活動の諸類型と多様性の解明
- ②学校文化の担い手の検討
- ③学校文化の主題とその時代的变化の解明

以上の目的に沿って、重点的に『校友会誌』の調査を行い、学校文化活動の諸相に関する多様な実態の分析を、以下の視点から進めていった。

- ① ず各旧制中学校・高等女学校・実業学校において校友会が設置され、その文化活動が発展していく経緯と、『校友会誌』が創刊されていく過程の解明を行うことを旨とした。

・大阪府立大阪尋常中学校のように、当初は「校友会報告」という名称のもとに、学校文化活動の簡単な記録のみが公表されており、それが『校友会誌』に発展した場合、

・盛岡中学校のように、当初は『復古袋』『丁二会雑誌』『鉄拳』といった、各種の生徒の学校文化活動に関する回覧雑誌が存在し、それが『校友会誌』に統合されていった場合等々。

- ② それぞれの中等諸学校の『校友会誌』の刊行と、その保存状況を確認すること。

- ③以上の作業を経て、各旧制中学校・高等女学校・実業学校の学校文化活動の内容を『校友会誌』にそくして検討し、次の項目に沿って比較分析を進めていくことを旨とした。

a.論説や科学・美術・音楽等に関する論稿をはじめ、詩、短歌、俳句等の創作やさらには翻訳といった文芸活動、あるいは様々な運動部活動の報告等、どのような学校文化活動が行われ、それが『校友会誌』の誌面の構成にどう反映されていたのか

b.『校友会誌』の編集方針と編集体制はどのようなものであったのか

c.執筆・寄稿生徒の推移

- ④特に、誌面の構成と各欄の内容を重視して検討を進め、中等諸学校生徒の学校文化活動への意識状況や活動状況を、例えばジェンダー的視点で比較検討していく。さらには、中学校の『校友会誌』には、「論説」や「時世」欄があり、国体論、海外雄飛、青年と修養、校風の樹立、中学生の覚悟、島国根性への批判、心身の鍛練等の様々な内容が寄稿されているが、その一方で、高等女学校の『校友会誌』には、そういった「論説」や「時世」欄が存在せず、かわりに文芸欄が大きなウエイトを占めている場合が多い。それらに反映した当時の中等諸学校の

生徒たちの社会への関心、自己意識等を、学校文化を支える基底的意識状況の問題としてとらえ、その時代による変化の分析を進めていくことを重視した。

- ⑤以上の分析をふまえて、中等諸学校の中でも、中学校、実業学校、高等女学校のそれぞれにおける教育の特質とその違い、あるいは都市部と地方、進学先としての高等教育機関の設置状況、さらには異なった国家的・歴史的文化的背景（例えば沖縄地域）といった学校所在地の違いが、学校文化の状況にどのように反映したのかについても検討を行っていく。

### 3. 研究の方法

『校友会雑誌』を用いて「学校文化」を上記のような多様な側面から明らかにする方法として、中等教育機関による異同、例えば男子中等教育機関である中学校・実業学校と、女子中等教育機関である高等女学校では、その学校文化のありようがどのように異なっていたのか、あるいは同じ男子中等教育機関においても「正系」とされた中学校と、職業教育の系統であった実業学校とでいかなる違いがあったのかを解明する。また、地域による学校文化の違いも考察していく。

具体的な方法としては、上記で収集した史料を対象として、まず旧制中等諸学校の『校友会雑誌』のいわば「書誌学的」な検討を行っていく。

例えば、以下の4点からのアプローチである。

1. 校友会雑誌の名称とその変遷
2. 創刊の年度
3. 校友会雑誌の年間の発行回数とその増減
4. 発行停止、廃止、休刊の事例、等の解明

このうち、校友会雑誌の名称の由来については、

- ① 友会の名称によるもの
  - ② 学校の名称によるもの
  - ③ 学校の名称にちなむもの
  - ④ 学校の所在地の地名にちなむもの
  - ⑤ 地域の自然によるもの一山、川、海、植物
  - ⑥ 地域の故事や文物によるもの一城、神社、寺、人物
  - ⑦ 抽象的な語
- 等が仮説的に考えられよう。

さらに、これを少しずつ実質的な『校友会雑誌』の内容分析へと進めていく。その際の方法は、以下のものである。

まず「I. 誌面の構成」の分析については、

1. 誌面の構成の傾向
2. 各欄の内容の分析を行う。

「II. 雑誌の編集体制」については、

1. 雑誌編集の組織
2. 予算
3. 編集作業過程を分析する。

「III. 校友会雑誌への参加と投稿」については、

1. 生徒の投稿状況とその変遷
2. 教師・卒業生等の投稿とその変遷を検討する。

「IV. 校友会雑誌の役割」については、

1. 機関誌的機能
  2. 文芸的機能
  3. 教育的機能（その1）—訓育的側面—
  4. 教育的機能（その2）—教科学習
- という作業仮説を設定し、それぞれを論証と分析の課題とする。

さらには、以上の検討をふまえ

1. 史料目録の作成
  2. 史料現物の写影の作成
  3. 『校友会雑誌』に掲載された各記事・論稿を、
    - ・旧制中学校生徒の時代認識と自己像
    - ・旧制中学校生徒とナショナリズム
    - ・国家意識、・旧制中学校校友会と「自治」
    - ・旧制中学校生徒と人間形成・「修養」観
    - ・旧制中学校生徒と文芸活動、・校友会運動部の発足と展開
- 等のテーマにそくして「解題」を作成し、内容の分析を進めていく。

#### 4. 研究成果

上記の研究目的と方法に基き、数年来実施してきた旧制中学校および高等女学校を前身にもつ高等学校、それぞれ700校、1074校に対し『校友会雑誌』の刊行と所蔵に関する全国アンケート調査をもとに、多面的な分析を加えた。

また、各地の公共図書館における2000冊に及ぶ『校友会雑誌』の所蔵を確認した。さらには、300種類、700冊以上の『校友会雑誌』を収集し、その中には、「外地」「外国」であった台湾、朝鮮、満州（新京・大連・奉天）、上海、青島、樺太、ハワイ等の日本人学校の『校友会雑誌』を含んでいる。それらの調査をふまえ、史料目録等のデータ・ベース化を行った。

また、研究報告書（第一集）『旧制中等諸学校の『校友会雑誌』にみる学校文化の諸相の研究と史料のデータ・ベース化』（全367頁）を刊行し、『校友会雑誌』の記事内容の分析に取り組んだ。その目次を示せば、以下のとおりであり、研究代表者、研究分担者、連携研究者、研究協力者が協力し、それぞれの角度から多面的な角度から学校文化の研究にアプローチすることができた。

#### 第一部 『校友会雑誌』研究に向けて

- I. 『校友会雑誌』研究に向けて
  - その意義と課題—
- II. 『校友会雑誌』（中学校・高等女学校）の書誌的分析
- III. 実業学校における『校友会雑誌』のはたした役割

#### 第二部 『校友会雑誌』写影および所蔵一覧

- I. 『校友会雑誌』表紙写影
  - 〔解説〕表紙の変遷にみる『校友会雑誌』の性格
- II. 『校友会雑誌』所蔵目録（学習院大学教職課程研究室）
- III. 全国アンケートによる各高等学校『校友会雑誌』所蔵一覧
  1. 「旧制中学校」所蔵一覧
  2. 「高等女学校」所蔵一覧
- IV. 各府県立図書館等『校友会雑誌』所蔵一覧
  1. 「旧制中学校」所蔵一覧
  2. 「高等女学校」「実業学校」所蔵一覧
- V. 「外地」・外国で刊行された『校友会雑誌』所蔵一覧

#### 第三部 【解題】『校友会雑誌』における各論稿・記事

- ・高等女学校生徒の「研究」の多様性
- ・「笑い」の精神を学習する場としての『校友会雑誌』
  - 誌上に現れた戯画化・コント・滑稽・「教師—生徒」関係—
- ・『校友会雑誌』と日露戦争
- ・中学生と戦争（満州事変）
- ・生徒たちの「青年論」
- ・「拮抗するメディア」としての『校友会雑誌』
  - 明治30年代から40年代の「青年論」を対象として—
- ・生徒の「戦争」言説の変遷について
  - 〈対岸の火事〉から〈我々のもの〉へ—
- ・高等女学校生と遊芸
  - 1910年代跡見女学校の場合—
- ・高等女学校生の弟妹へのまなざし
- ・高橋啓子会務主任時代の『汲泉』
  - 同窓生ネットワークの形成①—
- ・『浅陽』の復刊
  - 同窓生ネットワークの形成②—
- ・『むさしの』における同窓会欄の設置
  - 同窓生ネットワークの形成③—
- ・野球論を通してみる中学生の発信
- ・『校友会雑誌』と学外メディア
  - 野球の是非をめぐる—
- ・会計報告にあらわれた校友会の運営と組織
- ・女学生の回想録

- 呼び名・文体・登場人物—
- ・小使長谷川初次郎の校友会活動  
—『校友会雑誌』の  
メンバーシップに注目して—
- ・楽器の普及と校友会音楽部活動  
—ハーモニカに着目して—
- ・旧制中学校音楽部活動における  
『校友会雑誌』の役割  
—音楽部の部報から—
- ・旧制中学校における応援団について  
—岐阜中学『華陽』の記事から—
- ・明治後期の校友会雑誌の役割  
—剣道部報に注目して—
- ・生徒たちの朝鮮（人）
  - ・中国（人）観

## 5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計2件）

1. 斉藤利彦「近代日本における学校運動部の成立と展開」（学習院大学文学部『教育学・教育実践論叢 2012』（2012年4月）pp. 157-172
2. 斉藤利彦「近代日本の文芸活動と『校友会雑誌』」（学習院大学文学部『教育学・教育実践論叢 2012』（2012年4月）pp. 145-155

〔学会発表〕（計3件）

1. 日本教育社会学会第64回大会テーマ部会「学校文化の歴史社会学」（2012年10月28日、於同志社大学）；問題提起および司会者 斉藤利彦、稲垣恭子
2. 日本教育学会第71回大会ラウンドテーブル「旧制中等諸学校の校友会雑誌にあらわれた生徒文化」（2012年8月24日、於名古屋大学）；司会 斉藤利彦、発表 市山雅美、井澤直也
3. 教育史学会第55回大会のコロキウム「戦前期中等諸学校における『校友会雑誌』と学校文化の研究」（2011年10月2日、於京都大学）；発表 斉藤利彦、市山雅美

〔その他〕

ホームページ等

研究報告書（第一集）『旧制中等諸学校の『校友会雑誌』にみる学校文化の諸相の研究と史料のデータ・ベース化』（全367頁）を刊行済み。

<http://www-cc.gakushuin.ac.jp/~19851078/>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

斉藤利彦 (SAITO TOSHIHIKO)

学習院大学・文学部・教授  
研究者番号：20178495

### (2) 研究分担者

稲垣恭子 (INAGAKI KYOUKO)  
京都大学・教育学部・教授  
研究者番号：40159934

市山雅美 (ICHIYAMA MASAMI)  
湘南工科大学・工学部・講師  
研究者番号：50410030

### (3) 連携研究者

井澤直也 (IZAWA NAOYA)  
いわき明星大学・教養部・教授  
研究者番号：30299953